

催吐リスク PTX(tri-weekly)

卵、体、頸(PTX175+CBDCA6)d1/c21d 卵

薬剤名	投与経路	投与量	希釈液	点滴時間(分)	投与日(day)
パロノセトロン	注射	0.75 mg			1
クロルフェニラミンマレイン酸塩	注射	5 mg			1
ファモチジン	注射	20 mg			1
デキサメタゾン	注射	16.5 mg	生食 100 mL	30	1
パクリタキセル		175 mg/m <sup>2</sup>	5%糖液 250 mL	180	1
カルボプラチン		6 AUC	5%糖液 250 mL	60	1

## 内服薬

デキサメタゾン 8mg 分2 朝昼食後 day2,3

## 投与基準等

**II. 投与基準 (例:白血球 $\geq 2000/\text{mm}^3$ 、好中球 $\geq 1000/\text{mm}^3$ )**好中球 $>1,500/\mu\text{l}$ 血小板  $>100,000/\mu\text{l}$ . (CTCAE Grade 0-1).血清クレアチニン $<1.5 \times$  institutional upper limit normal (ULN)ビリルビン $< 1.5 \times$  ULNGOT and alkaline phosphatase  $< 2.5 \times$  ULN

神経障害がない

PT INR  $<1.5$ , APTT  $< 1.2 \times$  ULN

Ⅲ. 減量基準 (例:Grade3 以上の好中球減少時、次回より投与量を80%に減量)

・好中球減少性発熱を来した、もしくは好中球 $<500/\mu\text{l}$ が7日以上持続した場合

・Grade 4 の血小板減少を来した場合

→カルボプラチンの AUC を1減量

GOTもしくはALPがGrade 3以上の時、パクリタキセルを $135\text{mg}/\text{m}^2$ に減量

Grade2 以上の末梢神経障害出現時、パクリタキセルを  $135\text{mg}/\text{m}^2$ に減量

Ⅳ. 重大な副作用 (例:好中球減少 Grade3 以上37. 5%)

好中球減少症 Grade 4 以上 57.7%

好中球減少性発熱症 3.5%

消化器障害 Grade 2 以上 1.2%

添付参考資料(文献・ガイドライン・治験計画書・研究計画書)

N Engl J Med 2011; 365: 2473